

あとがき

東日本大震災による電力不足のために、今夏は電力使用制限令が発動され、節電が叫ばれました。たまに訪れる東京では電車やビルの冷房が弱められているだけでなく、街全体が暗く、私も節電を実感することができました。そして、それらの努力により、電力不足に陥ることもなく夏を乗り切ることができ、ついに9月9日、電力使用制限令が解除されました。このことは、日本人は目標に向かって一致団結できる国民性を持っていることを示したと同時に、今までいかに不要な電力を使用していたかをも示したといえます。わが国は、発電のために常に資源を輸入し続けていますが、少なくとも今回使用を控えることができた分は不要なものであった可能性があります。資源が限られていることを考えると、よい教訓になったのではないのでしょうか。

さて、今月の話題は「緑内障配合剤のメリットとデメリット」です。現在、多くの種類の緑内障点眼薬がありますが、1人が3種類以上の点眼をする場合、点眼の苦勞もさることながら、資源保護の観点からも無駄という印象を拭い去ることができません。ですから、緑内障配合剤が開発されたのは当然のことです。しかし、処方箋を書く側としては、単剤だけでも薬の種類が多いうえに数種類の配合剤が出現した今、それぞれのメリットとデメリットが十分に理解できていないのではないのでしょうか。学会のランチョンセミナーや研究会で緑内障点眼薬についての講演を聞く機会が多いのですが、昨今の常として会には共催企業がありますので、内容にバイアスがないかという点と否と言わざるをえません。そのことがさらに、点眼薬本来の理解を妨げているようです。本誌の内容はバイアスが排除された科学的なものが厳選されており、読者の信頼に応えることを第一としています。本号における相原先生の簡潔かつ直截的解説により、緑内障点眼薬についての理解が進んだ方も多いでしょう。学会やセミナーの聴講だけでは十分に理解できないことも、本誌を紐解くことで理解が進むことを期待いたします。(坂本泰二)

編集顧問	大野重昭	清水弘一	玉井 信	塚原 勇	水流忠彦	西田輝夫	馬嶋昭生
	増田寛次郎	三宅養三					
編集委員	天野史郎	坂本泰二	鈴木康之	寺崎浩子	中澤 満	根木 昭	(五十音順)

臨床眼科 (第65巻 第10号)

2011年10月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 2,835 円 (本体 2,700 円 + 税 5%)

2011 年年間購読料
冊子のみ 41,660 円 冊子 + 電子版 54,300 円
電子版/個人 41,660 円 電子版/共有 47,910 円
増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料小社負担

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷㈱ 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- **JCOPY** < (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

担当 水野・鶴淵・安部